

末梢動脈疾患（LEAD：lower extremity arterial disease）患者に
対する血管内治療（EVT：endovascular therapy）
施行時の坐骨神経ブロックの有効性と安全性
についての検討

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

EVT 手技を安全に施行するために、適切な疼痛管理は重要です。しかし、薬剤使用に関する特定のプロトコルはなく投与量も経験則に基づくものであった為、時に過鎮静からの過圧・呼吸抑制を来すことがありました。そこで、「EVT 鎮静プロトコル」（以下「プロトコル」という。）を作成し、医師の判断により膝下領域の治療で強い疼痛が予測される症例には坐骨神経ブロックを導入しました。昨年度、その有効性と安全性を「プロトコル」と坐骨神経ブロック導入前後で評価しました。結果、EVT を施行した LEAD 症例に対する「プロトコル」と坐骨神経ブロックの併用は疼痛出現率を低下させることが分かりました。しかし、連続症例ではないことが結果に影響を及ぼしていることが研究限界でありました。

【対象】

2022 年 1 月 31 日～2024 年 9 月 30 日の期間に EVT を施行した連続症例

【情報の利用目的及び利用方法】

診療記録を用いて後ろ向きにデータを取得し、坐骨神経ブロック併用の有無による、患者さんの苦痛・呼吸や循環動態への影響を評価します。

【調査項目】

疼痛・鎮静評価：疼痛の訴えの有無、鎮静スケール、

循環評価：収縮期血圧 80mmHg 以下、HR 50 回／分以下

呼吸評価：酸素飽和度 90%以下

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定

できる情報が明らかになることはありません。

【調査対象期間】

2022 年 1 月 31 日～2024 年 9 月 30 日

【利用する者の範囲】

関西労災病院 看護部 濱口純江

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 看護部 濱口純江

【研究期間】

実施許可日から 2025 年 6 月 30 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

濱口 純江

関西労災病院 看護部

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）